

報道関係者各位

令和6年12月2日

舞鶴引揚記念館 学生語り部の活動について

「舞鶴の国際交流を学ぶ」と「ウズベキスタン留学生との交流」

舞鶴引揚記念館では次世代継承事業として展開しています「学生語り部」の活動を12月8日(日)に下記のとおり実施することとなりましたのでお知らせいたします。

今回は、館内の「平和の祈り」のコーナーでも紹介している舞鶴の国際交流について学ぶとともに、シベリア抑留地であったことがきっかけで交流が進んでいるウズベキスタン共和国からの留学生にも参加をしてもらい、若い世代同士の交流も予定しています。

来年の戦後80年・海外引揚開始80年の節目に向けて、学生語り部として国際的な視野を広げ、さらなる史実の発信や活動に役立てていきます。

1. 日 時 令和6年12月8日(日) 13時30分～16時 ※学生語り部の集合は13時
2. 場 所 舞鶴引揚記念館 セミナールーム、展示室
3. 内 容 ① 「舞鶴の国際交流について」 市みなと振興・国際交流課
② 「ウズベキスタンと舞鶴について」 国際交流員 アフメドフ・アシルベク氏
③ 学生語り部と留学生の交流(館内案内、グループトークなど)
※ウズベキスタン留学生は8名予定
(近畿職業能力開発大学校1回生、2回生、卒業生)
※学生語り部の参加者は、現在、出欠確認中です

【参考画像】交流のきっかけとなったウズベキスタン「日本人抑留者資料館」ジャリル・スルタノフ館長の舞鶴引揚記念館への訪問。右の写真はスルタノフ館長とウズベキスタンに抑留された体験者の新家苞(いのみ・しげる)氏(高槻市、現在99歳)。

※いずれも、平成28年1月24日、舞鶴引揚記念館で撮影



《その他参考》◎学生語り部の今後の活動について

令和7年1月25日(土)の「語り部養成講座」(学生のための受講日)に、先輩語り部も参加し、受講者との交流や館内説明文づくりのサポートなどを予定しています



SDGs 未来都市

舞鶴引揚記念館 館長 嵯峨根吉宏(担当: 山下)

〒625-0133 舞鶴市字平 1584

TEL: 0773-68-0836、FAX: 0773-68-0370

E-mail: hikiage@city.maizuru.lg.jp